

スポーツに関する県民意識・実態調査

最終報告書

平成 28 年 11 月

埼玉県

報告書の読み方

- (1) 図表中の[N=387]などの数値は、回答者数を示すものである。回答を複数できる（複数回答）場合は、回答数の合計が回答者数を上回り、回答比率の合計が100%を超える。
- (2) 回答比率は、原則として回答者数Nを100%として算出する。回答比率は、図表中では小数点以下第2位を四捨五入して第1位まで表示する。この四捨五入に伴い、回答比率の合計が100%に満たない場合や上回る場合がある。
- (3) 調査回答者の属性や設問は、無回答を除いているため、各調査対象の人数と一致しないことがある。
- (4) 調査回答者数が少ないもの（10人未満）については、表章を割愛する。

目次

1. 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査対象	1
1.3 調査方法	1
1.4 調査内容	1
1.5 抽出方法	2
2. 調査結果	3
2.1 スポーツに関するアンケート調査 小学生（五年生）	3
2.2 スポーツに関するアンケート調査 中学生・高校生	17
2.3 スポーツに関するアンケート調査 成人	62
2.3.1 単純集計	62
2.3.2 クロス集計	100
(1) 年齢区分別	100
(2) 地域別	141
2.4 スポーツに関するアンケート調査 障害者	177
3. 埼玉県におけるスポーツ総生産の算出	202
3.1 目的	202
3.2 分析方法	202
3.3 分析結果	205
3.4 アンケート調査に基づく埼玉県成人のスポーツ関連年間支出額（消費から見た GDSP）	210
3.4.1 分析方法	210
3.4.2 分析結果	210
4. 参考資料（調査票・調査画面）	213
4.1 小学生	213
4.2 中高生	217
4.3 成人	223
4.4 障害者	233

1. 調査概要

1.1 調査目的

本調査は、埼玉県のスポートに係る施策の根幹となる新たな（次期）「埼玉県スポート推進計画」の策定にむけて、県民のスポート実施状況等に関する基礎情報を把握することを目的とする。なお、本調査においては、株式会社三菱総合研究所が調査・分析を実施した。

1.2 調査対象

本調査では、児童生徒と成人、障害者の3つを調査対象とした。児童生徒については、以下の3つの学年に分けて調査対象とした。

- ・小学校5年生 (387人/回収率100%)
- ・中学校2年生 (421人/回収率100%)
- ・高等学校2年生 (463人/回収率100%)

また、成人と障害者については、インターネット調査会社が保有するリサーチモニターのうち、以下に該当する人を調査対象とした。

- ・埼玉県在住の20歳以上の人(4,500人)
- ・埼玉県在住の障害者本人、または障害者の家族(300人)

1.3 調査方法

- ① 児童生徒に対しては、学校を経由して、紙媒体の調査票による調査を行った（実施時期は2016年7月）。調査客体は、学校種類別の全公立学校リストより所在地域のバランスに配慮して調査対象校を無作為抽出し、当該学校の特定のクラス（1クラス）の全児童生徒を対象としている。
- ② 成人と障害者に対しては、モニターを活用したインターネット調査を行った（実施時期は2016年8月）。なお、成人については、性別2区分×年代5区分×地域10区分ごとに、実際の人口比率に応じて4,500人を割付している。

1.4 調査内容

調査対象別の主な調査項目は以下のとおりである。

主な調査項目	小学生	中学・高校生	成人	障害者
県民のスポート実施状況	○	○	○	○
運動やスポート、健康に関する意識	○	○	○	○
ラグビーワールドカップ/オリンピック・パラリンピックの認知度	○	○	○	○
体育の授業以外でのスポートの状況	○	○	○	
スポート実施や観戦の地域特性			○	○
障害者スポートの充実・発展に重要なこと				○

1.5 抽出方法

① 調査対象となった児童生徒の抽出方法

- ・ 小学校、中学校は、さいたま市（浦和）、さいたま市（大宮・岩槻）、南部（南）、南部（北）、西部（西部）、西部（比企）、北部（大里・本庄）、北部（秩父）、東部（北）、東部（南）の10区分より、各地域の学校数に応じて、2校または1校を選定。
- ・ 高等学校は、さいたま市、北足立北部、北足立南部、入間、比企、秩父、児玉、大里、北埼玉、埼玉の10区分より、各地域の学校数に応じて、2校または1校を選定。
- ・ 全公立学校リストから調査対象校を無作為に抽出し、当該学校の特定のクラス（1クラス）の全児童生徒を対象とした。

〈対象地域のリスト〉

小学校	中学校	高等学校
さいたま市（浦和）	さいたま市（浦和）	さいたま市
さいたま市（大宮・岩槻）	さいたま市（大宮・岩槻）	
南部（南）	南部（南）	北足立北部
南部（北）	南部（北）	北足立南部
西部（西部）	西部（西部）	入間
西部（比企）	西部（比企）	比企
北部（大里・本庄）	北部（大里・本庄）	秩父
北部（秩父）	北部（秩父）	児玉・大里
東部（北）	東部（北）	北埼玉
東部（南）	東部（南）	埼玉

② 調査対象となった成人・障害者の抽出方法

- ・ 成人、障害者はモニターを活用したインターネット調査を実施した。
 - ・ 成人の調査対象者については、性別2区分×年代5区分×地域10区分=100区分ごとに、実際の人口比率※に応じて4,500人を割付した。障害者300人については、特別な割付はしなかった。
- ※ 実際の人口比率は、平成22年度国勢調査に基づく。
- ・ 地域10区分は、平成24年埼玉県5か年計画地域別版で示されている成人地域区分に基づく。